

SUGINAMI CITIZENS'

# 杉並区気候区民会議

CLIMATE ASSEMBLY

## 開催レポート

### 第5回：意見提案をブラッシュアップしよう

2024年7月6日（土）13:30～16:30 | 杉並区役所



#### 目次

- 1 | 実施概要・・・1
- 2 | 当日プログラム・・・1

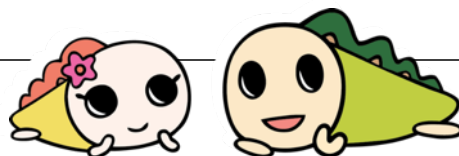
- 3 | ポスターセッション・グループワークの記録・・・2
- 全体方針・めざす姿・・・3 / テーマ別の取組・・・5

# 1 | 実施概要

- 日時** 2024年7月6日（土）13:30～16:30（3時間）
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第3・4委員会室（杉並区阿佐谷南1-15-1、中棟5階）
- 内容** 第1回の情報提供者である東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所の江守先生に、第4回で考えた目標や取組についてヒントをいただきました。その後、他のグループの取組などに意見するポスターセッションやワークを通じ、意見提案をさらにブラッシュアップしました。
- 参加人数** 52名（12グループ）

# 2 | 当日のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	5分	本日の目的と進め方
	13:35	10分	評価アンケート結果と意見提案（素案）の説明
	13:45	15分	意見提案へのフィードバック 第1回の情報提供者である東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所 江守正多先生より、意見提案についてのコメントやヒントをいただきました。
ポスターセッション（全体）	14:00	35分	意見提案（素案）をよりよくしていこう 第3回で出し合った「めざす姿」や第4回で議論した「取組」のまとめをポスター形式で会場に掲示し、感想やアドバイスを書き込んでいきました。
全体	14:35	5分	「全体方針」「めざす姿」への感想の確認、グループワークの進め方
	14:40	10分	休憩
グループワーク	14:50	90分	意見提案（素案）をブラッシュアップしよう 第4回で議論したグループで集まり、ポスターセッションでの意見を確認し、取組の内容をブラッシュアップしていきました。
まとめ	16:20	10分	まとめ・次回ご案内・アンケート記入
	16:30		終了



## 3 | ポスターセッション・グループワークの記録

### 進め方

第5回では、東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所の江守正多先生に、第4回で考えた「目標」や「取組」に対してヒントをいただきました。

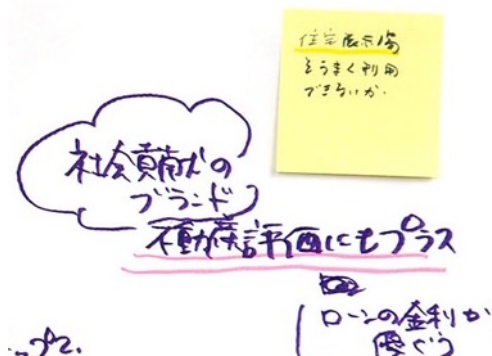
その後、他のグループの取組などに意見する**ポスターセッション**を行い、テーマごとの取組に加えて、全テーマを共通して大切にしたい視点として「全体方針」と、2050年までにめざす杉並区の姿として「めざす姿」について、より良くするための感想やアドバイスを出し合いました。

**グループワーク**では、第4回で議論した12のグループに分かれて、議論を深めました。江守先生や他の参加者からのヒントや感想を踏まえながら、取組ごとに以下の項目を検討しました。

#### 取組ごとに検討した項目

- ・ 達成したいこと
- ・ 取組の内容
- ・ なぜ杉並区のこの取組が必要か
- ・ 実現に関わるべき主体
- ・ 実現に向けたステップ

### ワークシートの読み方



#### 黄色い付箋：

ポスターセッションで出し合った感想・アドバイス

#### 色文字の書き込み：

ファシリテーターによるまとめの言葉や議論した内容

# ■ 「全体方針」と「めざす姿」

## 全体方針

第1回の「総論」で、情報提供があった視点であり、第3回以降の熟議では、これらの視点を踏まえながら議論を進めてきました。第5回では、意見提案のとりまとめに向けて、「なぜこれらの視点が大事と思うか」や「追加したい視点」について感想を出し合いました。

### 「全体方針」についてのご感想

なぜこの視点が大事だと思いますか？

追加したい視点はありますか？

我慢ではなく  
仕組み化を考える

さまざまな  
主体が連携する

脱炭素以外の  
メリットも考える

将来世代に  
負担をかけない

他の地域や国に  
不公平を生まない

追加したい  
視点：

子供も大人も  
楽しめるように  
参加してもらう

子どもたちも  
当事者として参加

イノベーションを  
生み出したい

イノベーション  
の推進  
の推進  
の推進

イノベーション  
の推進  
の推進  
の推進

様々な  
資源を  
活かしたい

世界の  
課題分野も  
見直し  
の推進  
の推進

地域、得意分野を  
生かす

# めざす姿

第3回で議論した「めざす姿」のまとめの言葉（短冊シート）をもとに、表現を整理した案について、意見や感想を出し合いました。

## 「めざす姿」についてのご感想

第3日に  
全体シール投票は  
内容をさらに作成  
したい！

「2050年、気候変動対策を実施した杉並区がこうなったらいいな」  
**2050年までにめざす杉並区の姿**

たくさんの  
区民が参加すれば  
世界のモデル  
になる

定款を住民の  
参加で世界の  
お手本にする  
こと目指す

良い取組を  
SNSで共有  
したい

近隣市区に  
広がります

具体的に  
減らすこと  
落しこぼさず

学校 区民企業  
連携でアップサイクル

高い環境意識が受け継がれ、  
行動力のある区民が育つまち

キーワード  
#社会を促せる行動力のある区民 #高い環境意識  
#次世代に受け継ぐ #全区民が知っている

環境意識・行動力  
快適な脱炭素暮らし  
イラスト

快適で豊かな脱炭素な暮らしを  
実現できるまち

キーワード  
#継続できる取組 #気候変動対策が前提に #商店街  
活性化・コミュニティ・健康にもプラス #自然体で無理な  
く暮らしが豊か #脱炭素だからこそ全員が快適

みどり：  
質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち

キーワード  
#他都市がうらやむ #質の高いみどり #豊かな自然  
#四季を感じる #交流を育むみどり #愛着の持てる  
みどり #人と自然に隔たらない #生き物も人もコン  
フォートブル #多様性

交通：  
だれもが環境にやさしい手段で移動したくなる、  
多様なモビリティが共存できる環境が整ったまち

キーワード  
#歩きたくなる #自転車に乗りたくなる #楽しい #だれ  
もが安心できる道しかない #モビリティと人が共存 #ス  
トレスなく移動 #環境が整っている

環境型社会  
ごみの排出量が最も少なく、暮らしに関わる全ての  
が杉並区内で完結する循環システムのあるまち

キーワード  
#ごみ排出最少 #ゼロウェイスト #区内で完結 #循環  
システム #リサイクル率 No.1

交通  
イラスト

意見提案 3

「めざす姿」の表現を整理した案について、意見や感想を出し合いました。

「めざす姿」の表現を整理した案について、意見や感想を出し合いました。

# ■ テーマ別の取組

## エネルギー

### 1 グループ | 家庭における省エネ・再エネ

#### 取組 1：家庭でお得に省エネ・再エネにチャレンジできる環境を整備する

\*上記のタイトルは、第5回で話し合う前のものを記載しています（以下同様です）。

### 1 グループ | エネルギー 家庭における省エネ・再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移住区に必要か?：移住区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき?
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは?

エネルギー

達成したいことは? 家庭でのエネルギーに関するお得になる情報を区民全員が知っている状態にする

**取組 01** 家庭でお得に省エネ・再エネにチャレンジできる環境を整備する

取組の内容

ウェブサイトや SNS 等の区が運営している既存のメディアを活用しながら、各家庭にお得に省エネ・再エネに関する情報を集約し、簡単に情報にアクセスできるようにすることで、各家庭でお得に、楽しく、自主的に省エネ・再エネアクションを起こしやすくするための基礎的な情報を発信する。

なぜ移住区にこの取組が必要なの? 正しい情報から何を伝えるべきか

- ・ 温室効果ガス排出 52.8% を家庭が占めるため、住宅の多い移住区が率先して取り組むことでお手本になる
- ・ 移住区にはゲーム・アニメ等のコンテンツをつくれる会社が多いため、協働で開発ができる可能性がある
- ・ 行政の公益性が高いので、情報も正しい
- ・ アプリやメールなど高い工夫が必要

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

世界に発信 (P=X × 英語変換)

区議会 区民 企業 見守り UI データ 行政 地域 自治体 関係者

移住区気候区民会議

アンケートでのタイトル:  
取組 1 | 家庭でお得に省エネ・再エネにチャレンジできる環境を整備する

矢口謙也もっているだけでもそう

元・示唆もベネチアも700円

アニメの紹介画像は子供から大人まで分かりやすく、(1/2)の外観もあわせて紹介

7/9が関係者、前半同様に後半は省エネ・再エネの具体的なアクション

第4回の取組内容

ウェブサイトやアプリで家庭で省エネ・再エネに関する情報が集約されていて、使用量の把握やモニタリングも、お得情報の確認などができる、具体的なアクションの仕方を示す。

ウェブサイトやアプリでインセンティブが得られる、ゲームでミッションをクリアするなど、家庭で楽しく省エネ・再エネ導入のチャレンジができる

- ・ AI を活用して、省エネ・再エネに関するアドバイスや疑問に答えてくれるようなシステムをつくる
- ・ 区が運営している既存のメディアを多角的に使い、インフルエンサー等の協力も得ながら多くの区民に届けるような有効な情報発信を行う

うわ 省エネ・再エネの成果をグラフで視覚的に表現

SNS のプラットフォーム共有されたエリアの中で、身も蓋もないものを評価する

本題は2/2 作品を応募 (アニメ、小説...)

見本 真似てみる

気候と省エネのつながり

取組の成功の秘訣

# 取組2：再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする

## 1 グループ | エネルギー 家庭における省エネ・再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

エネルギー

50% = 10倍

達成したいことは？ 区内の家庭での太陽光発電の普及率を30%アップする

取組 02 再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする

取組の内容

各家庭や集合住宅（分譲・賃貸）での太陽光発電導入の精神的なハードルを越えるために、個人での導入検討ではなく、エリア単位でまとめて情報交換しながら、導入検討を推進できる仕組みをつくる。

• 導入効果ガス排出52.8%を家庭が占めるため、住宅の多い杉並区が率先して取り組むことでお手本になる

• 杉並区には住宅が多く、町会等の地域のコミュニティがしっかりしており、各家庭での太陽光発電の導入にあたって、地域で相談しながら検討できるというメリットがある

— 杉並区に必要でないという理由はない —

取組をカタチにするための「関わるべき主体と進め方のイメージ」

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

## 杉並区気候区民会議

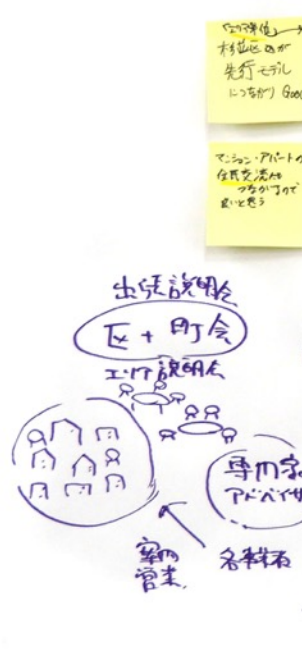
アンケートでのタイトル：  
取組2 | 近所の人たちとみんなで導入すれば怖くない再エネ

第4回の取組内容

- エリアで条件まとめて太陽光発電を導入しやすい割引が得られるようにして、情報交換しながら導入の検討ができるサービス
- 既存のマンションに太陽光発電を導入できるように、補助金や設置義務などの仕組みを整える
- 区のお墨付きの安心できる業者の登録制度 紹介制度を設け、相談窓口も合わせて設置できると良い
- 気軽にできる太陽光発電を導入したときのモニターをつくり、住宅の耐用年数に合わせて導入費用や改修期間がシミュレーションできると良い

(進め方イメージ/関連の取組)

- 区が所有している公共施設や工作物にはすべて太陽光パネルを設置し、安心感につなげる
- 太陽光発電のお得情報を区民に伝えられると良い
- 簡易的に導入できるペロスカイトの開発を手伝うために、モデル地区での社会実験や、クラウドファンディングを実施する
- ハザードマップの太陽光版のような、太陽光パネルの設置に適した形状の住宅や土地の条件を公開する
- 区が設置業者とGoogleマップなどで調査して太陽光を勧められる家に導入を推奨する

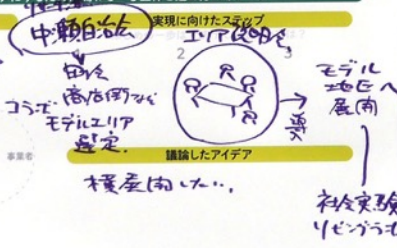


杉並区が先行モデルにしよう Good!

マンションアパートの住民意識の高さを活かして良いと思う

簡易な導入サービス  
「導入のハードルが高い」という意見に「導入しなくてもいいから導入してあげよう」という意見に

既存のマンションの内部にパネルを設置するのは難しい



# 取組3：省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる

## 1グループ | エネルギー 家庭における省エネ・再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎となる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移設区に必要か？：移設区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

エネルギー

達成したいことは？ 新築・改修ともに戸建住宅・集合住宅の省エネ・再エネにつながる仕組みを充実させる

取組 **03** 省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる

取組の内容

省エネ・再エネにつながるエネルギー効率の良い住宅を増やすには、「正確な情報が得られること」「専門家による診断やアドバイスがもらえること」「補助金による金銭的な補助があること」が必要であるが、個別に実施するだけでは実現しないため、一連のパッケージとして区内で展開する。

なぜ移設区にこの取組が必要なの？

- ・ 温室効果ガス排出 52.8% を家庭が占めるため、住宅の多い移設区が率先して取り組むことでお手本になる
- ・ 移設区には住宅が多く、町会等の地域のコミュニティがしっかりしているため、省エネ・再エネの導入が進みやすい

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

既存の制約の整理 → 自治体の関係機関との連携 → 住宅展示場での紹介 → リフォーム展示場での見学会開催

環境 × 防災 × 防犯

両方 Good.

最終判断は個別

アンケートでのタイトル：  
取組3 | 省エネ・再エネ住宅推進パッケージ

アンケートでのタイトル：  
取組3 | 省エネ・再エネ住宅推進パッケージ

省エネ・再エネ住宅の推進パッケージ

社会貢献のブランド  
不動産の価値にプラス

ローンの金利が低い  
エネルギー Good 住宅  
認証マーク

Good

リフォーム完了マーク

情報提供 → 診断・アドバイザー派遣 → 補助金によるサポートの一連のパッケージを導入して、省エネ・再エネ住宅を増やせるようにする

既存の集合住宅には管理組合等の大規模修繕の項目として、省エネ・再エネに関するものを義務化し、補助金の導入やアドバイザーの派遣をする

(進め方イメージ)関連の取組

- ・ ベロブスカイト等の新技術を実証実験できるようなモデル地区を設定し、区民の参加型で効果を検証しながら導入可能性を広げていく

金額予算の把握  
選定する。

環境 × 防災 × 防犯  
両方 Good.

最終判断は個別



## 2 グループ | 地域における省エネ

### 取組 4 : 区民や企業が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける

#### 2 グループ | エネルギー 地域における省エネ

- タイトル : タイトルだけでも伝わるものにする
- 取組の内容 : 取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か? : 杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしよう
- 関わるべき主体 : どんな人や組織が取組の実現に関わるべき?
- 実現のためのステップ : はじめの一步、持続させるための仕組みは?

エネルギー

達成したいことは? 区民・企業・杉並区が協力・連携し、地域全体で unnecessary 電力消費を抑える

**取組 04** 区民や企業が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける

イラスト

**取組の内容**

杉並区が主導しながら企業や店舗と連携し、地域全体の消灯日を設ける。企業や店舗には定時退社・営業時間の短縮に協力してもらい、区民が暗がりを楽しむ企画として、ホテルの鑑賞会や星空観測、ろうそくだけで過ごす夜などの体験を提案する

**なぜ杉並区にこの取組が必要なの?**

住宅地だからこそ実現できよう!  
 静心部どめるからとよ!  
 協働部どめるからとよ!

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
区民	1 お試し
企業	2 周知
その他	3 実現

議論したアイデア

第4回の取組内容

- ・企業とコラボレーションし、営業所やお店などの営業時間を短縮して、まち全体で消灯する時間・日を設ける
- ・杉並区みんなで早く寝る日・消灯する日をつくる
- ・暗がりを楽しむ企画として、ホテル鑑賞やろうそくだけで過ごす夜、星空観測などを提案する

3つを2つに  
杉並「節電」を実現!!  
3つを2つに

音の  
高い時間帯  
いっしょに  
楽しむ  
音も

街灯  
LEDの整理  
LEDの整理  
LEDの整理

協働部  
協働部  
協働部

生活リズムにあわせて  
AM派、PM派を  
参加させる。

LEDの整理  
LEDの整理  
LEDの整理

LEDの整理  
LEDの整理  
LEDの整理

# 取組 5：床発電システムを駅や公共施設に導入する

## 2グループ | エネルギー 地域における省エネ

- ①タイトル：タイトルだけでも伝わるものにする
- ②取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- ③なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしよう
- ④関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべきか？
- ⑤実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

**移並  
スケジュール表**

ゴッていうとゴッが  
みない

いろいろスケジュール  
書いておく

Xで5月の分は  
スケジュール表

アンケートでのタイトル：  
取組 5 | 床発電システムを駅や公共施設に導入する

認知度  
100%

わざわざ  
調べたい...

省エネ見える化する!

床発電がどのくらい効果ある?  
太陽光 発電してる?

公共施設や  
駅や観光地などに  
10%に見える化する  
目標値もわかる

3ヶ月を2ヶ月  
区がどこまで  
省エネできたら  
わかる

目標達成  
10%  
ポイント!!

日常生活で目につくところに設置  
エネルギー 駅・スーパー・バス(むぎの)

達成したい  
こととは? 地域における日常生活の中に発電を組み込むことで、外から調達す  
るエネルギーを減らす

取組 個人でできる発電 省エネ意識の啓発  
05 床発電システムを駅や公共施設に導入する  
太陽光パネル 啓発のために

イラスト

取組の内容

区民が日常的に利用する駅や公共施設などに床発電システムを導入することで、気候変動対策等  
に関心のない区民も無意識のうちに省エネ・再エネの取組に参加することができ、まち全体で行  
える取組になる。また、区民が日常生活で利用する公共施設や公共交通などに、太陽光パネルを  
設置し、エネルギーの調達について意識を向けてもらえるような機会をつくる。

なぜ移並区にこの取組が必要なの?  
省エネの意識を高めたい

区内でエネルギーをつくり、置き換えることができるようになる

太陽光パネルは  
2年ほどでよく  
つかえる。建設費は  
高くないが、  
取組が成功  
すればいい

床発電を取り入れ、  
他のパネルと比べて  
コストも削減し  
たい

区民が省エネを  
意識するきっかけ  
になるように  
したい

床発電はいい  
けど、コストが  
高い。でも、  
省エネ効果は  
大きいので、  
導入したい

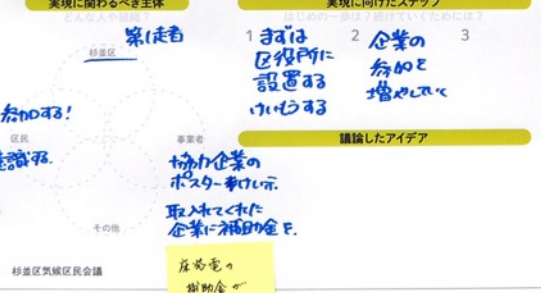
床発電の  
導入は、  
区民の  
意識を  
高める  
ことに  
なる

省エネ効果  
就職に便利?

床発電に  
ついては、  
PRをしよう  
としたい

床発電システム  
が、理解でき  
ない

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ



学生  
新しい発電について  
研究してくれよう  
としたい

くつのはかじきに  
床発電のもの  
を入れておく?

- 第4回の取組内容
- 床発電システムを駅や公共施設など、交通量が多い場所を設置することで、日常の中に発電する取組を取り入れることができる
  - 自家発電に参加を促すと、移並区の暮らしに使えるお得なポイントや地域振興券などがもらえるようにし、多くの区民が参加する取組にする
  - 太陽光パネルを公共施設や公共交通に設置する

# 取組 6：杉並区主催で自家発電運動会を開催し、気候変動対策の取組を発信する

## 2グループ | エネルギー 地域における省エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

**エネルギー**

達成したいことは？ 地域全体で楽しく省エネ・再エネに取り組んでいることを発信し、“エコ杉並”をブランディングする

**取組** 杉並区主催で自家発電運動会を開催し、気候変動対策の取組を発信する

**内容** プランニングを中心に！

① 学校・企業が参加できるような地域対抗の自家発電運動会など楽しい催しの中で、気候変動に関する認知度を高め、学びのある機会をつくる。また、催しの様子も発信することで、杉並区内外に向けて“エコ杉並”のブランディングを推していく。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・楽しく気候変動対策の取組ができ、若い世代が暮らしにすることで人口減少を防ぐ
- ・民間主催だと意図目的のように感じて参加しにくいため、杉並区が主体になることで、取組を多くの人に知ってもらうことができる
- ・杉並のポテンシャルを活かす

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<p><b>関係のパートナー</b></p> <p>杉並区</p> <p><b>実行支援</b></p> <p>トモエマニエ</p> <p>事業者</p>	<p>1 区民会議を続けていく！</p> <p>2 Youtubeで発信する</p> <p>3 データをゼミで他の区へ共有！</p>

議論したアイデア

失敗をみせれば杉並

アンケートでのタイトル：

取組 6 | 杉並区主催で自家発電運動会を開催し、気候変動対策の取組を発信する

自家発電は  
自家発電をこころずかなくていいから、プロもあつていいから、プロもあつていいから、プロもあつていいから。

区民が主体でやるってイメージがわかないから、プロもあつていいから、プロもあつていいから、プロもあつていいから。

テレビにのっとるんだったら、杉並区が主体でやるってイメージがわかないから、プロもあつていいから、プロもあつていいから、プロもあつていいから。

「エコ杉並」のブランディングは、杉並区が主体でやるってイメージがわかないから、プロもあつていいから、プロもあつていいから、プロもあつていいから。

第4回の取組内容

- ・エコな取組の認知度を上げるため、区民が参加したくなる楽しい催しを行う。
- ・エネルギーの使用量や目標数値、杉並区の取組なども紹介する。
- ・エネルギーを発電する体験などができる
- ・杉並区主催で、区民、学校、企業が参加できる地域対抗の自家発電運動会をする。地域コミュニティの強化につなげる


### 3グループ | 地域における再エネ

## 取組7：自分たちで小さくてもコツコツと積み上げて発電し、まち全体で電力の地産地消を進める

### 3グループ | エネルギー 地域における再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移設区に必要か？：移設区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべきか？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

→ 地産地消のイメージ (再エネによる)

- 会社内に電気を取って  
健康とエネルギー  

- 発電量パネルと見える  
区全域で  
太陽光発電  
見える見える化

エネルギー

達成したいことは？ エネルギーの地産地消の割合を大幅に上げる

タイトル  
取組 **自分たちで小さくてもコツコツと積み上げて発電し、まち全体で電力の地産地消を進める**  
**再エネ可能エネルギーで自分自身で発電**

取組の内容  
小さくてもコツコツと積み上げて発電し、まち全体で電力の地産地消を進める

戸建て住宅、集合住宅、病院、道路や公共施設、河川などあらゆる資源を活かして区内で再生可能エネルギーによる発電を行い区全体で電力の地産地消を実現する。

集約して → 見える → 見える → 見える

なぜ移設区にこの取組が必要なの？

- ・ 住宅都市移設区は多くの人口を抱え、エネルギーも消費する一方で、そのことが都市の環境破壊につながるような努力をするべきであるため
- ・ 遠くで発電した電力を送電する過程でロスが起こり、また災害時には供給されない恐れがあるため

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

進め方に向けたステップ

1. パネル設置のイメージ
2. 見える化のイメージ
3. 実行部隊をつくる(事業会社)

議論したアイデア

## 移設区気候区民会議

アンケートでのタイトル：

取組7「自分たちで小さくてもコツコツと積み上げて発電し、まちもつくり変えて、電力の地産地消を区全体で進める」

- エネルギーをためて貯める技術があるか？
- 区民がどうして見える化を望むのか？

河川 - 風力、小水力  
ゴミ - バイオマス → アルバのバイオマス  
分別する生ごみ  
工場がエネルギーに変えるアセスの仕組みを  
太陽光 - 小水力 - ゴミ  
移設区格所に再生エネルギーを  
見える化する。地産地消が実現できる。

第4回の取組内容

- ・ 区内の戸建て住宅、集合住宅で電力をつくって各家庭で使う(つくる・貯める・使う)
- ・ 町単位で、街区単位で電力をつくって使う(つくる、貯める、使う、災害に備える)
- ・ 新しい技術を導入して、道路や公共施設などでも電力をつくる
- ・ 善福寺川で小水力発電をする
- ・ フィットネスなどで健康づくりをしながら発電し蓄電して使う仕組みをつくる
- ・ エネルギーの地産地消事業会社「移設電力」を設立する。区民のための、区民が協力する「区民参加型」の電力会社にする

- 区民がどうして見える化を望むのか？
- 区民がどうして見える化を望むのか？
- 区民がどうして見える化を望むのか？

# 取組 8：(仮) 化石燃料由来の電力を 再エネ由来の電力に切り替える

## 3グループ | エネルギー 地域における再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

① 化石 → 再エネ  
 ② 化石由来を知る  
 ③ 共有する  
 ④ 個人会社も切り替える!!  
 ⑤ 再エネ使う!!  
 ⑥ 再エネつくる!! (補助金)  
 ⑦ 料金体系

エネルギー

達成したいことは？ 移並区内の電力を 100%、120% 再エネでまかなえるようにする

取組 **03** (仮) 化石燃料由来の電力を 再エネ由来の電力に切り替える

取組の内容

再生可能エネルギーに切り替える選択肢があることを広く周知徹底し、再エネ由来の電力への切り替えを後押しするインセンティブを整備して、個人や事業者に働きかける。

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

- 区内の住宅、集合住宅、商業施設、道路、公共施設全部を再エネの導入に使っても電力需要を100%まかなえないので、調達を化石燃料由来の電力から再エネに切り替えることで対応するのが現実的

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

- 1 周知する
- 2 準備を整えて
- 3 仕組み(インセンティブ)がある

議論したアイデア

## 移並区気候区民会議

移並区で  
 化石燃料由来の電力を再エネ由来の電力に切り替える

アンケートでのタイトル:

取組 8 | (仮) 化石燃料由来の電力を再エネ由来の電力に切り替える

周知の方法は?

- LINE
- 会社ぐるみで
- おたて
- 自転車発電

インセンティブは?

- ① 意識的になってもらう
- ② 補助金
- ③ 金銭的補償

# 取組 9：交流自治体や地方と再エネを起点にした 相互的な協力体制をつくる

## 3グループ | エネルギー 地域における再エネ

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめての一步、持続させるための仕組みは？

### 姉妹都市交流自治体 とやること

名寄町  
姉妹都市  
協定 協定  
する  
おまかせ制度

おまかせの有名  
日光市と協定  
はどうか

・委託して発電してもらい  
買取り保証・投資  
土地・海を提供してもらう

↓

・区民向けに区民も個人協同  
で給食、米、野菜を買い  
たい学校... 養育

・伝統行事をきっかけに交流  
科

・どうせお温泉があるから  
...地熱発電

今度おまかせ  
協定に  
温泉を買って  
おまかせ  
させて

交流自治体は  
おまかせの  
おまかせ  
おまかせ

他自治体の  
おまかせ  
おまかせ  
おまかせ  
おまかせ

強み：住宅都市に比べ  
消費電力が低い(人口等)  
交流自治体産電力(世田谷=おまかせ)

達成したいことは？ 区内でまかなえない電力は、交流関係のある地域・都市から調達する

### 取組 交流自治体や地方と再エネを起点にした 相互的な協力体制をつくる

取組の内容

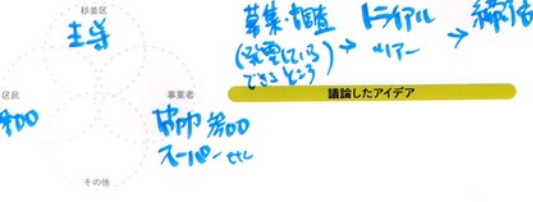
再生可能エネルギーを起点にした交流自治体との協力体制を構築し、交流自治体とは電力だけでなく、事業交流や人的交流、自然体験教育など幅広く相互に助け合う。

なぜこの取組が必要なの？

再エネへの移行は補助金任せではコストがかかりすぎるため、補助金ではない誘引事業が必要  
こはなのような自然豊かな地域となれば教育にも良い  
再エネが必要なのか、太陽光パネル発電地や風力発電の自然への影響なども含めて子どもが  
入まで環境意識の醸成と自然環境教育・体験がもっと必要のため  
施設がない住宅地移並にとっては、災害の時に助け合える区外のパートナーを持つ必要がある

### 取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体 実現に向けたステップ



## 移並区気候区民会議

### 標準

アンケートでのタイトル:  
取組 9 | 交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる

表で所  
おまかせ  
おまかせ  
おまかせ  
おまかせ

企業が学校等  
おまかせとして  
おまかせとして  
おまかせとして

### 第4回の取組内容

・電力事業・交流事業を事業会社「移並電力」が企画運営する

# 循環型社会

## 4 グループ | リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

### 取組 10：商店街でフードロスをテーマにした ハレの日の催しをつくる

#### 4 グループ | 循環型社会 リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

「ハレの日」催し  
関心が高い  
思っ

フードロスは日々発生  
している  
「ハレの日」イベントを  
作ることで  
毎日の食糧を減ら  
すのが目的

子供向けに  
フードコート  
やイベントを  
開催したい

公園で催し  
開催する  
あり

防災・日に  
防災会と  
コラボ

具体的なイベント  
が実現する  
か

食品ロス削減  
が目的  
「ハレの日」イベント  
に結びつける  
必要がある

循環型社会

達成したいことは？ 行政・企業・飲食店が連携し、ごみ・食品ロス削減に効果的な取組を多数実施する

取組 商店街でフードロスをテーマにしたハレの日の催しをつくる

取組の内容

フードロス削減の取組を楽しく体験できる商店街のイベントを、区全体で展開する

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

- ・ 移並区は商店街が多いので、区民が身近な場所で楽しみながらフードロスの取組に関わる機会を増やすことができる
- ・ 商店街の各店舗に協力してもらうことで、フードロス削減につながることも、商店街の賑わいにつながる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

## 移並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：  
取組 10 | 商店街でフードロスをテーマにしたハレの日の催しをつくる

イベント時こそ！ごみ・食品ロス削減につながる  
「ゴミゼロ」イベントと  
マニュアルをつくり、区内のお客  
リサイクルイベントで活用できるようにする

かんきょうに  
盛り上げた  
イベント  
メニュー  
作成

イベントは  
食中毒、カラス  
などから  
マニュアルを  
作成する  
必要がある

公共空間で  
イベント開催  
メニュー作成

イベント開催  
メニュー作成

イベント開催  
メニュー作成

イベント開催  
メニュー作成

イベント開催  
メニュー作成

# 取組 11：杉並循環ラボをつくる

## 4 グループ | 循環型社会 リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

Handwritten notes on yellow sticky paper:

- 後世へ伝わる  
杉並らしい  
スタイルが  
good!
- MITの事例  
紹介  
推進のイメージ  
に合わせた  
見直し
- 企業と連携が  
る。子もたす  
参加しやすい  
仕組みを  
考える
- 各企業  
の強みを生かして  
連携する  
仕組みを  
考える
- 売上の割合  
が企業に  
ある。フードロス  
削減の  
仕組みを  
考える
- ラボは  
工夫が必要  
だと思う
- 空き家はポロ  
ポロにイデ  
アから  
生まれる  
ものか？

Handwritten notes on pink sticky paper:

- 企業と  
市民が  
協力  
して  
取り組む
- 町会  
や  
NPO  
など  
の  
力を  
集める
- 実現できる  
アイデア  
を  
杉並  
の  
状況  
に  
合わせて  
考える
- 次世代の  
ビジネス  
が  
できる  
仕組み  
を  
考える
- 杉並区  
で  
できる  
こと  
を  
考える
- 杉並  
型  
ラボ

循環型社会

達成したいことは？  
ごみに関する意識の改革につながるような、楽しく学び、体験する機会をたくさん創出する

取組  
杉並循環ラボをつくる

取組の内容

空き家や老健施設、企業が生活者のニーズに応じたサービスや商品を区民と共に開発・展開する、循環型社会をテーマにしたリデュースラボをつくる。  
(ヒック)

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- 杉並区は住宅地が多く、住んでいる人の意見を集めることで、効果的な取組を行うことができる
- 空き家や今ある施設などを拠点にすることで、関わる区民を増やし、一人一人の意識を変えることにつながる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区</li> <li>町会</li> <li>NPO</li> <li>企業</li> <li>市民</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人材を集める 企業、研究者</li> <li>2 パート ラボ</li> <li>3</li> </ol>

議論したアイデア

- 空き家活用
- 老健施設活用
- 企業と連携
- 市民参加
- 町会単位での取組
- 企業と連携
- 市民参加
- 町会単位での取組

## 杉並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：  
取組 11 | 杉並循環ラボをつくる

第4回の取組内容

- 企業が生活者のニーズに応じてサービスや商品を開発・展開する、循環型社会をテーマにしたリデュースラボをつくり、ごみの減量が実現する取組を行う



# 取組 12：杉並式生ごみ循環システムをつくる

## 4 グループ | 循環型社会 リデュース：ごみ・食品ロスを減らす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

各地域に  
生ごみ減量  
の目標を掲げる

いっしょに生ごみ減  
量に取り組む  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを処理する  
場所をわかりやすく  
知らせたい

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみ減量  
の目標を掲げる

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

生ごみを減らす  
仕組みを一緒に  
考えていこう

循環型社会

達成したいことは？ 世界一ごみの排出量が少ないまちを実現する

取組 12 杉並式生ごみ循環システムをつくる

取組の内容

可燃ごみを減らすために、生ごみをまとめて堆肥化して区内で野菜を生産し、消費するシステムをつくる

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・ 区内で1番、2番ではなく、世界一を目指すことで区全体で効果的な取組が行えるようになるため
- ・ 昔から革新的な考え方を持つ人が多く、区民の意識が高いため

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ		
杉並区	1	2	3
事業者			
その他			

議論したアイデア

第4回の取組内容

- ・ 生ごみを工業用コンポストに集約する
- ・ 堆肥化して野菜を育て、区民に野菜やポイントを提供する

アンケートでのタイトル：  
取組 12 | 杉並式生ごみ循環システムをつくる

自分かど木だけ  
ゴミを出しているのが  
可視化ある  
「ゴミフオーゼア」  
をつくる

データについて訂正：  
杉並区民一人当たりのごみの排出量が 23 区内で 2番  
目ではなく、現在は 1番目

# 5グループ | リユース：繰り返し使う

取組 13・15 (1つに統合)：

一度使ったものをアップサイクルや修理できる拠点「REプレイス」を創出する  
 一度使ったものをシェアする「杉並区0円均一DAY」の仕組みをつくる

## 5グループ | 循環型社会

リユース：繰り返し使う

**リユース  
くみ返し使う**

- ① シェア・共有
- ② 修理・リペア
- ③ アップサイクル  
ランセル  
ex.

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

循環型社会

達成したいことは？ アップサイクルや修理を促進し、粗大ごみを半減させる

**取組 13** 一度使ったものをアップサイクルや修理できる拠点「REプレイス」を創出する

*取組の方向* **一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点創出**

「モノのお医者さん」などを通じて、一度使ったものでも**アップサイクルや修理できる**拠点をアーティスト、学生、企業などとコラボレーションしてつくる。また、

**リユース容れもつる、シェア→取組14と連携**

**なぜ杉並区にこの取組が必要なの？**

- ・杉並区にはアーティストがたくさんいるので、コラボレーションできるため
- ・一度使用して、使わないものを区民同士でシェアできるため

**使う**

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

1. **アートに無関係にあり** (修理が得意な人)

2. **キャンペーン 不定期開催** (取組14との連携)

3. **拠点 持続可能な体制 (粗大ごみ)**

**議論したアイデア**

- (世界中のアーティスト)
- (自治体、企業)

**第4回の取組内容**

- ・使えるモノ、使えないモノの分別をする
- ・アーティスト、学生、企業などとコラボレーションをしてアップサイクルする
- ・モノを修理してくれる「モノのお医者さん」を設置する

活動を普及させるために：

- ・広報紙や新聞広告を活用する
- ・世代別に働き世代、子育て世代、子ども、若者などへ向けに普及キャンペーンを実施する

### 5グループ

共通に、家具家電の回収。ために出すものを減らす。減らすことで、粗大ごみの量を減らす。

「モノのお医者さん」

「リユース」

「アップサイクル」

「モノのお医者さん」

「リユース」

「アップサイクル」

# 5グループ | 循環型社会

ス：繰り返し使う

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

買ってきた物は  
家具家電の類は  
大切に使う  
家具家電の類は  
大切に使う  
家具家電の類は  
大切に使う

取組の目的が  
明確に示されて  
いるのか？  
取組の目的が  
明確に示されて  
いるのか？

常に必要のない  
ものを共有できる  
のはいいと思う

新しい  
仕組みをつくる  
T T T T

他の地域も  
参考にしながら  
つくりに取り組む  
のはいい!

新しいモノ  
カテゴリー  
カテゴリー  
カテゴリー  
カテゴリー  
カテゴリー

7/17/2024  
ワークショップ  
Day 2の振り返り  
メモ

循環型社会

達成したいことは？ 一度使ったモノのシェアを実現し、区民同士のコミュニティ形成も図る

取組 一度使ったものをシェアする  
「杉並区0円均一DAY」の仕組みをつくる  
イラスト

取組の内容

区民同士でモノを交換する日や区主催のフリーマーケットを設けるなど、一度使ったモノをシェアする仕組みをつくる

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・すでに一部地域ではやっている取組なので、すぐに取り組むことができそう
- ・近隣で顔の見える関係性、地域コミュニティ形成のきっかけになる
- ・既存の杉並区のイベントが活用できる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ		
杉並区	1	2	3

議論したアイデア

公式X等で  
いい物があるせいで  
シェアしたい

第4回の取組内容

- ・年に2回、家の軒先に不用品を出して、区民同士でモノの交換、循環をできるようにする
- ・出店は区民限定の杉並区主催フリーマーケットを開催する

## 杉並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：  
取組15 | 杉並区0円均一DAYの開催

# 取組 14：区民が日常的に、リユース容器を使うことができる環境「杉並区量り売りストリート」の実現を目指す

## 5グループ | 循環型社会 リユース：繰り返し使う

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎となる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

アイデアを紙に書く、  
おまけの取組の原則的な  
認知をデザインする  
にしよう。

リユース容器を  
常時持ち歩くの  
イメージがなかなか  
定まらないので、  
おまけの取組を  
あけてみる。

杉並区内の  
スーパーは  
ほとんどに  
量り売り

水産物の  
鮮度や  
食の安心  
を重視する  
消費者は、  
新鮮なものを  
求める傾向が  
強い。

**杉並区量り売りストリート**

循環型社会

達成したいことは？ リユース容器の利用を促進し、区民が日常的にリユース容器を利用している状態を実現する

取組 14 区民が日常的にリユース容器を使うことができる環境「杉並区量り売りストリート」の実現を目指す

取組の内容

量り売りで使用するリユース容器をきっかけに区民が日常的にリユース容器を使う暮らしの実現を目指す

ターゲット

- ウォーターサーバー
- 飲食店
- 量り売り

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- 空き店舗の多い商店街の地域課題を解決するきっかけになるため
- 杉並区が「健康と食生活のまちづくり」を推進していることと一致している

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

- 杉並区
- 商店街
- 個人事業者
- 区民
- 保健所
- 区民会議
- その他

実現に向けたステップ

1. ウォーターサーバーの設置
2. 飲食店の参加
3. ストリート集積ボックスの設置

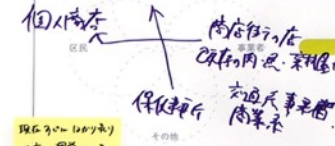
議論したアイデア

第4回の取組内容

- 企業を誘致し、杉並区に来れば量り売りで買える商品が充実させ、量り売りを促進する
- 杉並区内で空き店舗の多い商店街と協働で取り組み、商店街活性化の一助になるようにする
- 量り売りとともに、リユースボトルの利用を促進するためのウォーターサーバーを入居する各店に設置する
- 杉並区内の店舗へリユース容器の使用を促進

アンケートでのタイトル：  
取組 14 杉並区量り売りストリート

量り売り  
の魅力を  
発信しよう！



現在スーパーなどで  
販売されている  
企業と連携して  
量り売りの環境を  
実現しよう。

14. 量り売り  
の魅力を  
発信しよう！

# 6グループ | リサイクル

## 取組 16：杉並区内の生ごみからできた土をつくり、杉並ブランドとして商品化する

### 6グループ | 循環型社会

#### リサイクル：再資源化を進める

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

たいてい  
マテリアル  
リサイクル  
いかに  
エコに  
めい  
めい  
→めい  
まに  
入りたい

杉並区  
リサイクル  
ブランド?

生ごみで  
資源化  
促進

生ごみの  
資源化  
促進

生ごみ  
資源化  
促進

杉並区  
リサイクル  
ブランド?

生ごみで  
資源化  
促進

生ごみの  
資源化  
促進

循環型社会 生ごみの資源化 → ゴミは減る

達成したいことは？ 生ごみを再資源化することで、可燃ごみの削減につなげるため、生ごみを増肥化する区民・事業者を90%に増やす

取組 杉並区内の生ごみからできた土をつくり、資源化し、杉並ブランドとして商品化する。杉並(モリル)の価値を今後、活用方法を検討する。

取組の内容 家庭や飲食店から排出される生ごみを回収し、環境負荷の少ない自然な方法で堆肥として再資源化し、区内の公共空間や区民農園などで活用し、生ごみが土に還る資源循環を実現する。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？ 生ごみの資源化は、今よりもっと進めたい。

- ・可燃ごみの3割が生ごみ、食品由来のもので、生ごみを再資源化することで可燃ごみの削減にもつなげたい
- ・微生物に分解してもらい、生ごみを土に戻すことで循環させる。追加のエネルギー消費を必要とする生ごみ乾燥機などによる「ごみの減量」ではなく、本質的に資源循環を実現する必要がある
- ・杉並区はみどり豊かで、今後も守って育てていくことを目指すため、化石由来の肥料などをつかわない環境に配慮した方法で進める必要がある。「みどり」と連携し、堆肥化した生ごみ・土を活かしたい

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体 区民、事業者、区議会、区民農園、区民会議

実現に向けたステップ 1. 杉並区 生ごみと資源を回収する 2. モリル 地区で資源を回収する (システム) 3. 土に還元 → 区民の活用活動が広がる 区民農園、区民会議、区民農園、区民農園

議論したアイデア 土に還元 → 区民の活用活動が広がる 区民農園、区民会議、区民農園、区民農園

アンケートでのタイトル:  
取組 16 | 杉並区内の生ごみからできた土をつくり、杉並ブランドとして商品化する

生ごみの資源化のメリット  
・身近に感じやすい  
・身近に感じやすい

課題:  
・土の質と活用の限界

第4回の取組内容  
・家庭や飲食店から集めた生ごみを堆肥化して、Made in SUGINAMIの主として商品化して売る  
・公園の緑地や街路樹などみどりがある公共空間では杉並の土を活用する。また、区民が家庭や区民農園などには配布する。  
さらに検討が必要なこと  
・堆肥化したコンポストの活用方法  
・生ごみの運び方、回収方法  
・「キョーロ」など、量が増えないコンポストを活用することで回収の必要性をなくす

アンケートでのタイトル:  
取組 16 | 杉並区内の生ごみからできた土をつくり、杉並ブランドとして商品化する

生ごみの資源化のメリット  
・身近に感じやすい  
・身近に感じやすい

課題:  
・土の質と活用の限界

第4回の取組内容  
・家庭や飲食店から集めた生ごみを堆肥化して、Made in SUGINAMIの主として商品化して売る  
・公園の緑地や街路樹などみどりがある公共空間では杉並の土を活用する。また、区民が家庭や区民農園などには配布する。  
さらに検討が必要なこと  
・堆肥化したコンポストの活用方法  
・生ごみの運び方、回収方法  
・「キョーロ」など、量が増えないコンポストを活用することで回収の必要性をなくす

# 取組 17：リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

## 6グループ | 循環型社会 リサイクル：再資源化を進める

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

循環型社会

達成したいことは？ まちの身近なところにリサイクルできる回収拠点や場がたくさんある状態を実現する

取組 **17** リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

イラスト

取組の内容

杉並区の資源回収率を高めるために、公園、駅、スーパー、公共施設など、日常生活の延長線上のまちのあらゆる場所でもリサイクルできるようにする。また、一部では細分化されたリサイクルなど、先進的な手法を体験し学べる場をつくることで、区民のリサイクルへの理解も深める。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・ 家以外のまちの中でリサイクルを実施・体験できる場が少ない
- ・ 公園などにはごみ箱が設置されているが、リサイクルボックスはないため、そういう場所でも子どもと一緒にリサイクルを実施・体験しながら教えられようようにしたい
- ・ 「体験」をすることで「理解」や「学び」につながり、「日常」「当たり前」になっていくため、まずは体験する機会を増やす。徳島県上勝町の「HOTEL WHY」のように、リサイクルをはじめとする循環型な生活を、杉並区の日常の中でも体験できるようにしたい

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
1. 区民	2. 話し合い
3. 事業者	4. 実施

議論したアイデア

- ・ 3Rで進めよう！
- ・ 公園のカフェン (Part PF 的)
- ・ 区民の意見
- ・ 区民の意見

循環型社会  
リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

アンケートでのタイトル：  
取組 17 リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

今日の会議  
で、リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

資源回収  
の日や場所以外に、回収場所を増やす

第4回の取組内容

- ・ 公園、駅、スーパー、公共施設など、日常生活の延長線上のまちのあらゆる場所でもリサイクルできるように、リサイクルボックスを設置する。
- ・ 現状のリサイクル品目だけでなく、リサイクル推進自治体のように細分化されたリサイクルのしくみを体験することで、リサイクルの理解促進にもつなげる。
- ・ 正しく分別されるように適正な管理が大事であるため、管理体制を構築する
- ・ まずは公共施設の中など、管理体制や人の目がある場所から始める

リサイクルアンバサダーによる

区役所、高井戸リサイクルセンター  
↓  
10年ほど前には体験の場

区役所の近くには、リサイクルボックスを設置する

区役所内に、リサイクルボックスを設置する

公園には、カフェンと回収ボックス

# 取組 18：リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やす

## 6グループ | 循環型社会

### リサイクル：再資源化を進める

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにする
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移設区に必要なか？：移設区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

自分たちの取組  
を、何のために  
行うのか、その  
理由を明確に  
示す必要がある

Q-チケット:

知りたい、関心が高い

④教育を通じて！  
有効化は必ず必要です

移設区と連携し、  
各々の電子データを  
共有して活用  
を促す。  
協力体制

リサイクル等の  
区民「マイレージ」  
として、これを  
記入することで  
活用を促す

情報が届いてる人口？

- 高齢者 = 口コシ
- 若者口 関心を持って  
たまには見てみる

正しく正しい  
所に  
正が指導している

循環型社会

達成したいことは？ 資源回収率 60% を実現するために、リサイクルのしくみやプロセスに関する区民の認知度や理解を 80% 以上にする

**13** リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やす

取組の内容 場：様々な生活スタイルに合わせた場とする

資源回収率を高めるために、駅、学校、まちの掲示板、区のアプリアなどの目撃から触れるモノや場にリサイクルの情報を掲載することで、リサイクルに関する現状、目標と達成状況、ルール、プロセスなどへの区民の理解や認知度を高める。

なぜ移設区にこの取組が必要なの？

- ・ 移設区の資源回収率は現状 27.7% で市内でも高くなく、市内最高の 50% からは程遠い。再資源化を進めるためには、資源回収率 60% を目指す
- ・ 資源回収率を高めるためには、リサイクルを実践する区民の協力が必要であり、リサイクルの正しい方法だけでなく、意義を知らない人をなくす必要がある
- ・ 何をリサイクルすると最も効果的・効率的で、リサイクル製品がその後どのように活用されているかを知らない区民が多い。リサイクル率を高めるには、その理解を深める必要がある

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<ul style="list-style-type: none"> <li>区民</li> <li>町会</li> <li>マンション/集合住宅のオーナー/管理者</li> <li>移設区気候区民会議</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住宅での分別を通じて正しい分別</li> <li>2. ごみの管理に促すことで事業者同士の優良事例を共有</li> <li>3. 今後の 0% の % (事故件数削減) リアルタイムで情報共有</li> </ol> <p>議論したアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の 0% の % (事故件数削減) リアルタイムで情報共有</li> <li>・ シェアリング</li> <li>・ マンションの分別は別</li> <li>・ 外国人の多い所に良い対応方法</li> </ul>

イラスト  
様々な生活スタイルに合わせた場とする

アンケートでのタイトル:  
取組 18 リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やす

情報の掲載  
区民の生活の中で目撃から触れるモノや場に、リサイクルの情報を掲載することで、リサイクルに関する現状、目標と達成状況、ルール、プロセスなどへの区民の理解や認知度を高める。

マニ  
リサイクルのしくみやプロセスに関する区民の認知度や理解を 80% 以上にする

★ 分別アプリを DL する  
キャンペーン!  
たやす

第4回の取組内容

- ・ 駅、学校、まちなかの掲示板、区の取付のアプリア、商品など、生活の中で目撃から目に触れるモノや場に、リサイクルの情報を掲載する。
- ・ 周知する内容は、区内のリサイクルの現状、目標と達成状況、ルール、プロセスなどについて。

(その他に議論した取組内容)

- ・ まずは移設区でリサイクルされた商品から、商品に二次元コードをつけて、製造プロセスやリサイクル工程がわかるようにする
- ・ 長期的には、人材を育てる
- ・ 学校教育で清掃工場の見学を必須にする

インセンティブ  
区民の関心を持ってもらう





# 取組 20：駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりを つくり区民と守り育てる

## 7グループ | みどり 区内の身近なみどりを守る

いつか(10年)かある

みどり

駅周辺の  
(メゾンのポイントに  
沿って)

高層ビル  
のまわり  
緑化

999

11...

水たまり  
でもあつた  
りませんか

山田 Family

「タイトル」：タイトルだけでも伝わるものにして

□取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論

□なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由

□関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべきか

□実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

「良い」定義は？

良質の景観  
緑化の定価を  
しっかり固める  
と6.2からい  
ます。

### 20 駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる

イラスト

取組の内容

駅周辺（駅ビルや広場・駅前商店街）や、一定規模以上の民間企業の敷地などにおいては、杉並区の顔となるような良質な景観となるよう緑化を義務付ける制度をつくり、貢献した企業には「みどり割」や企業 PR といったインセンティブを提供する。また、創出されたみどりの保全にはアドプト制度など区民が参加できるしくみをつくり、区民の意識や行動で杉並のみどりの質を高めていく。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- 駅や、企業の大きな敷地など杉並区の顔になる場所に、豊かで質の高いみどりがあることで、訪れた人にとっても、区民にとってもみどりを大切にしている杉並のイメージが共有されるため。
- こうした顔となるみどりが、現状十分とは言えないと考えるため

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
区民の参加	1 区の取組方針
大企業	2 シミュレーション
小企業	3 実施
その他	4 実際の開発に対し 議論したアイデア

※ 杉並区環境区民会議

# 取組 21：みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる

## 7グループ | みどり 区内の身近なみどりを守る

「タイトル」：タイトルは1行でもわかるものにしよう  
 「取組の内容」：取組の基盤となる内容はしっかり議論しよう  
 「なぜ移住区に必要か？」：移住区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう  
 「関わるべき主体」：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？  
 「実現のためのステップ」：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

**みどり**

達成したいことは？ 地域のみどりのことに詳しい区民を増やし、みどりのことで詳しい人と地域の人がつながる機会を増やす

**取組 21** みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる

**取組の内容**  
 区民が、地域にいる身近なみどりの専門家（＝みどり先輩）とつながることができるマッチングサービスをつくる。地域のみどりをツアーで知る機会や、学習・体験などを通して、自宅はもちろん地域のみどりの保全に関わる力をつけることができるようになる。専門家は、地元の農家や園芸の専門家、東京都立農芸高等学校の生徒などが考えられ、取組を通して専門家もスキルアップにつながる相乗効果が見込まれる。

**なぜ移住区にこの取組が必要なの？**

- 移住区には生産地も多く預り、農家や園芸関係者、農芸高校など地域の中でみどりに関わる先輩がたくさんいる。
- みどりのことについて知りたい、学びたいという区民と、こうした先輩が身近な地域の中をつながることで、みどりのコミュニティづくりやコミュニケーションが生まれることや、地域のみどりの技術、ブランド（野菜などの）を継承していく必要がある。

**取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ**

**実現に関わるべき主体** 実現に向けたステップ

1. 区民と専門家をつなぐマッチングサービス  
 2. 地域での体験・学習  
 3. 地域産品の販売

「みどり先輩」の活用  
 地域産品の販売  
 地域での体験・学習  
 区民と専門家をつなぐマッチングサービス

「みどり先輩」の活用  
 地域産品の販売  
 地域での体験・学習  
 区民と専門家をつなぐマッチングサービス

「みどり先輩」の活用  
 地域産品の販売  
 地域での体験・学習  
 区民と専門家をつなぐマッチングサービス

アンケートでのタイトル：  
 取組 21 | みどり先輩マッチングサービスのみどりのみどり先輩

高齢化が進む地域  
 みどりの専門家  
 のマッチングサービス  
 は必要か？

「みどり先輩」の活用  
 地域産品の販売  
 地域での体験・学習  
 区民と専門家をつなぐマッチングサービス

第4回の取組内容

- 区民と東京都立農芸高等学校との交流・学習プログラムをつくる
- 専門家と区民のみどりのツアーを開催する
- 地域で気軽に相談できる地元の農家や園芸の専門家（＝みどり先輩）の募集と区民とのマッチングサービスをつくる

（その他のアイデア）

- 農芸高校の収穫祭に参加して野菜を食べる
- 移住ブランド野菜をつくる

# 8グループ | みどりを増やす

## 取組 22：歩いて 10 分森林浴ができる杉並区を実現する

### 8グループ | みどり みどりを増やす

- タイトル：タイトルだけでも変わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

#### いいね

歩いて10分は  
樹でも利用  
できればお茶  
できる

どなたかAIなどが  
発達しても、みどり  
による気候変動は  
気かえりて思いつ

と26  
わがり 房い  
杉並区は  
表紙のてい

① 園が  
ゆるい  
ゆるい  
ゆるい  
ゆるい  
ゆるい  
ゆるい  
ゆるい  
ゆるい

### みどり

Choco森林浴 (1坪あたり)

達成したいことは？ 区民が日常生活の延長で森林浴ができるぐらいの緑の量と質を、区内各所に増やす

### 22 歩いて 10 分森林浴ができる杉並区を実現する

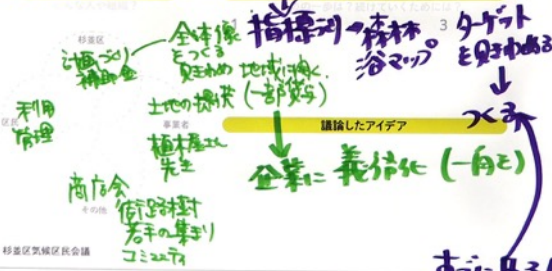
取組の内容  
空き地・空き家を活用し、森林浴できるぐらいのボリュームの樹林を増やす。人が安心して過ごせる樹林地を、歩いて10分という身近にアクセスできる距離で、かつわかりやすい指標を掲げながら、杉並区中に適切な樹林地を確保していく。

残存樹木の維持  
残存樹木の維持 特に民有地 + インベント (補助金) 学校と森にすまー徒歩10分圏  
と整備も活用

なぜ杉並区にこの取組が必要なのか？

- ・未利用地を活用すれば、意外とできそうな気がする
- ・心の豊かさを大事にする区
- ・住んでいる人が満足し、享受できる住宅地中心の杉並区
- ・「歩いて10分」などの客観的な指標をつくり、みんなのみどりへの関心を高め、取り組むたいと思えるスローガンが必要である

#### 取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ



実現に向けたステップ  
「全世帯が徒歩10分圏内に緑の指標を掲げられる」という社会目標を設定する。

アンケートでのタイトル：  
取組 22 | 歩いて 10 分森林浴ができる杉並区

ターゲット  
暮らしの中心の中  
に緑を  
増やして  
歩いて10分圏  
に整備する

#### 森へのアクセス

住居から徒歩10分圏内に緑の指標を掲げられるようにしたい。

木が植えられる場所  
緑の指標を掲げられるようにしたい。

杉並区公園の  
緑の指標を掲げられるようにしたい。  
公園内の  
緑の指標を掲げられるようにしたい。

第4回の取組内容  
・地域の課題になっている空き地・空き家の土地を、森林浴できるみどりに転用することで有効活用すると同時に、人が訪れるようにすることで、人の目が増え、地域の安全・安心もアップさせる

新築 (月々)  
と暮 (10~11月)  
暮も10月まで (11月)

緑の指標を  
どこに置くかの  
試算

ありはあり屋敷林と  
お茶亭に。

# 取組 23：各個人のみどりを増やすためのサポートを充実させる

## 8グループ | みどり みどりを増やす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

いっしょ

みどり

達成したいことは？ 公共用地のみどりに頼らず、区民だれもが自らみどりを増やしたいと思う人を増やす

取組 各個人のみどりを増やすためのサポートを充実させる

取組の内容 **緑地家賃補助**

持ち家だけでなく、だれもが個人のみどりを増やしたいと思うことのできる「得する」制度（緑を増やしたマンションへの家賃補助など）の充実や緑の維持管理へのノウハウや人的な支援メニューを充実させるなど、個人個人のみどりを増やしたいという思いを後押しできる人的、経済的支援を行う。

**困るネグバースト → みどりのカーテン**

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- 住宅地が多い（民有地7割）が、住宅地の緑被率が低く、特にマンションの緑被率が低いのが課題になっている
- ガーデニングなどを始めても、手入れの仕方を聞くチャンスがホームセンターで購入したときなど限られてしまっていることが多い
- みどりを育てる時に、剪定の仕方や維持管理を自分だけではできない
- みどりを増やすための補助金などの支援は、持ち家や事業所などに限られていて、賃貸住宅などはメリットを感じない

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

- 事業者: 不動産屋、グリーン建築マンション、緑地制度、学校、みどりの剪定教室
- 区民: パートタイム、固定資産税減免の代わりに、PR、専門家（杉並区）、ももポイント

実現に向けたステップ

1. 現状調査
2. 議論したアイデア
3. サポート体制（みどり先達）

PR

緑被率への効果試算

## 杉並区気候区民会議

### 税制・補助金

現在の税制が、緑と向き合いやすい環境を創出している。小規模宅地の課税優遇が継続される。

ある程度緑を確保している住宅地には、補助金を支給しにくい。

アンケートでのタイトル：  
取組 23 各個人のみどりを増やすためのサポート充実

### 増やす方法

23 花屋、庭師、緑地維持管理のノウハウや人的な支援メニューを充実させる（住宅地）

区民が「グリーンカーテン」を育て、緑を増やす

グリーンカーテンのスタートキットが簡単に手に入る仕組み、アドバイザー

補助金を活用して、緑地を増やす

グリーンカーテンのスタートキットが簡単に手に入る仕組み、アドバイザー

補助金を活用して、緑地を増やす

第4回の取組内容

- みどりを増やす後押しをするために、既存制度だけでなく、緑化している住宅に住んでいるとポイントが付与されるなど、家主や借主も家賃補助や維持管理費を補助してくれるようなインセンティブ・仕組みをつくる
- ちょっと困ったときに園芸の知識を教えてくれる人を増やし、相談に乗ってくれる・教えてくれる人材を整え、だれもがみどりを増やしやすいうサポート体制を整える
- みどりの維持管理をシルバー人材センターのほか手伝ってくれる人を増やす

最終にグリーンカーテンの補助金を活用

# 取組 24：(仮)緑被率などのみどりの現状や目標をつねに可視化させ、自分ごとにする

## 8グループ | みどり みどりを増やす

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要なか？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

おまじを伸ばす  
おまじに  
No.1になる  
指標をもち  
たいです

地との連携  
脱着型と着脱型  
移動型と固定型  
固定型、地との  
連携も考えたい  
です

十の要素と八  
緑化率を  
増やすために  
既述の7つの  
要素に加え、  
自治体の  
取り組み

みどり

客観的なみどりの目標数値の存在を知らない人が多い状態から、緑被率目標と現状を知っている区民を増やし、緑を増やす機運をまずつくる

取組 24 (仮) 緑被率などのみどりの現状や目標をつねに可視化させ、自分ごとにする

取組の内容

みどりに関する目標となっている「緑被率」の認知度を高めるため、みどりを増やすことの必要性を感じて、生活者の視点で自分ごととして捉えられるようにクイズや身近な場所での広聴などを活用する。また、緑被率を区全体の数値とするのではなく、みどりをどこにどれだけ増やすのが具体的な目標を設定し、公共任せにせず、区民一人ひとりがみどりを増やす当事者であると訴える。

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

- 日常生活で、身の回りの緑の現状や将来像を知る機会がほとんどない
- みどりの量の指標（緑被率）そのものについて知らない人がほとんどで、認知度が低い。まだそうした認知度の調査もされておらず、数値化されていない
- 緑被率を上げるという目標では遠景としてしまい、みんなみどりを増やすことに対して人任せになってしまうので、移並区ではまだない、ブレイクダウンした数値目標が必要

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

1 新指標の作成  
2 住民への告知  
3 取組の実施

議論したアイデア

- PRイベント
- 学校で教える
- みんなの意見
- 緑金の運用を知る

自分ごとにする  
地味なけど  
大事

アンケートでのタイトル：  
取組 24 | (仮) 緑被率や達成状況をPRし、自分ごと化する

PR方法の  
この指標を  
どう伝えるか  
伝えるべき  
場所はどこか  
出すべきは？

緑被率を  
増やすために  
PRイベント  
を企画する

住民への告知  
区報 - 緑被率対策コーナー  
区民センターのコーナー  
インフルエンサー / 自治体に紹介してもらう

第4回の取組内容

- みどりを増やすターゲットやゴールを共有する一歩として、緑被率や達成状況を周知する
- 数値目標をブレイクダウン（具体化）し、土地利用の用途別に設定する
- 数値目標を具体的に定めることで、開発時に事業者や建て主に緑を増やすことを積極的に誘導していく

増やす方法

ゼロから作る  
既存の  
みどりを  
増やす  
既存の緑  
を増やす  
既存の緑  
を増やす





# 10 グループ | 自動車利用の低減

## 取組 27：仕事で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に移動手段を変化させる

### 10 グループ | 交通 自動車利用の低減

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

自動車利用の低減に  
関わるべき主体  
を明確にする！

交通

達成したいことは？ 配達や業務で使う商用車の移動を効率的にする

取組 27  
仕事で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に移動手段を変化させる

取組の内容

配達の効率化や再配達に対する仕組みの導入など仕事で利用する自動車を減らす取組の導入を企業等に促し、業務利用しやすい自動車以外の新しい移動手段を普及させる。

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

・ 移並区の交通についての統計データでは商用車の占める割合が高いので、商用車を減らすと脱炭素化の効果が高い

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

企業間の連携  
トラックの通行料  
「共同配送」の活用  
車検費用の削減  
企業間の共同配送  
有償の共同配送  
など、さまざまな  
アイデアを提案する

アンケートでのタイトル：  
取組 27「商用「車」から商用「X」に」

再配達ステーション  
を増やす再配達の  
減らす

商用車等の  
夜間を利用  
する

配達は昼のうちに  
済ませたいと希望  
している事業者は  
連携してほしい

エリアに  
商用車専用  
エリア...

- モノの運送
- ・ 配達のための自動車を減らすために、再配達ボックスの義務化や再配達の有償化などの制度や仕組みを導入し、荷物の再配達を減らす
  - ・ 配送を効率化し、配達車の移動を減らすように企業へ働きかけ、促す仕組みをつくる
  - ・ 共同配送など自動車以外の新しい配達システムを使うようにする
- ヒトの移動
- ・ リモートでの仕事を促進することで自動車に頼る必要性を減らす
  - ・ 事業者のEV化を進め、充電スポットの充実などEV車が使いやすい環境を整える
  - ・ 電動スクーター、乗合タクシー、雨天時も自転車に乗れる環境の整備など、自動車以外の移動手段を拡充して自動車での移動を減らす
  - ・ 他地区の良い事例を業めて、企業が見習えるようにする
- フレンドプロジェクト：はたらく人の環境を  
エコ通勤



# 取組 28：区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

## 10 グループ | 交通 自動車利用の低減

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものになよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの1歩、持続させるための仕組みは？

ロープウェイ  
↑  
土から緑も見える！

環7の上には歩道を  
上から下まで  
みどりが見える

空を移動できるように  
ロープウェイなど + 景色も楽しめる

交通  
達成したいことは？ 乗用車以外の交通手段で、移並区内を南北に移動しやすくする

取組 28 区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

取組の内容  
新しいルートをつかむ。  
自動車以外の公共交通の利便性の向上や移動手段の確保、交通のルールを改善することで、移並区内の移動の利便性を高め、自動車の利用の減少につなげる

なぜ移並区にこの取組が必要なの？  
環七や環八の渋滞がひどく、移並区内の南北の移動が大変である

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体  
移並区  
区民  
事業者  
その他

実現に向けたステップ  
1. ルーティングを  
考える  
2. 他手段の  
PRする

議論したアイデア

## 移並区気候区民会議

みなさん  
南北を通り  
内線は早く  
解決してほしい

アンケートでのタイトル：  
取組 28 区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

自転車  
自転車専用  
レーン  
つくる  
安全な歩道  
をつくる  
自転車専用  
レーンによる  
南北移動が  
楽になる

金失道  
大胆に  
南北に線路  
を敷く

南北移動は  
地上線より  
台車も体で管理  
にも良いと思う

- 第4回の取組内容
- ・道路の通行方向を変えて一方通行の道を活用することで、自動車を南北に移動しやすくする
  - ・すざ丸（EV版）のルートを増やすなど、既存のバスを使いやすくして南北に移動できるようにする
  - ・グリーンズローモビリティなどの新しい乗り物を使うようにする
  - ・自動車と自転車を分離して、自転車が優先的に南北に移動しやすい環境を整える
  - ・動く歩道、ゴンドラ、ロープウェイなど、観光名所にもなるような全く新しい南北の移動手段を整備する



# 11 グループ | 徒歩・自転車の利用促進

## 取組 30：車利用から徒歩への切り替えにインセンティブをつける

### 11 グループ | 交通 徒歩・自転車の利用促進

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ杉並区に必要か？：杉並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしよう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

ベンチの設置  
ベンチのマップ化

通勤の  
通勤の  
通勤の  
通勤の  
通勤の

マリン館の価値を高める  
毎月1回、環状  
マリン館の価値を高める  
毎月1回、環状  
マリン館の価値を高める  
毎月1回、環状

通勤の  
通勤の  
通勤の  
通勤の  
通勤の

交通

達成したいことは？ 歩いて楽しく快適な環境をつくることにより、車での移動を減らす

取組 30 車利用から徒歩への切り替えにインセンティブをつける

取組の内容

知識も増やせるウォーキングラリーや、ウォーキングでポイントが貯まるアプリの活用、歩行者天国の実施、木陰やベンチなど涼しく休みながら歩ける環境を整える、電線地中化で歩きやすくなるなどさまざまな方法で徒歩を推進し、健康寿命の延伸にもつなげる

なぜ杉並区にこの取組が必要なの？

- ・現状、区民は非常に歩いているが、日本一を目指していくことが大切！健康寿命を延ばすことにもつながる
- ・歩行者天国は買い物にも便利で杉並区の経済にも寄与する
- ・健康で文化的な区民というのは、区のイメージアップにつながる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
杉並区	1
事業者	2
区民	3
その他	

議論したアイデア

## 杉並区気候区民会議

アンケートでの目標：  
1日に2000歩以上歩く区民の割合を59%から70%に増やす  
\*データについて訂正：1日7,000歩以上歩く区民の59%が健康状態が良い、の間違い

アンケートでのタイトル：  
取組30 | ハード・ソフトの両面から、歩いて楽しく快適な環境を整える

交通の切り替え  
交通×通勤  
通勤×自転車  
通勤×自転車  
通勤×自転車  
通勤×自転車

通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え

通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え

通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え  
通勤の切り替え

スマホで通勤をモチベーションに  
ポイントをつけて楽しく歩く

コインを稼ぐと通勤のモチベーションを高める  
通勤のモチベーションを高める  
通勤のモチベーションを高める  
通勤のモチベーションを高める



# 12 グループ | 人と多様なモビリティの共生

## 取組 32：東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす

### 12 グループ | 交通 人と多様なモビリティの共生

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移並区に必要か？：移並区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一歩、持続させるための仕組みは？

交通

達成したいことは？ 南北も移動しやすい省エネルギーな移動手段のネットワークを構築し、移動にかかる環境負荷を減らす

取組 32 東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす

取組の内容 環境負荷の少ない交通を整備し、(東)や(西)だけでなく南北方向にも移動する手段を確保することにより、環境負荷の低い移動手段の選択を促す

なぜ移並区にこの取組が必要なの？

移並区は南北の交通を便利にするために、南北の交通の整備が必要  
すでに南北の60kmをつなぐエイトライナーの計画があるため、活かせるの良い  
すぎ丸などは便利だがEV化はまだ1台しかないため、発展させる

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

議論したアイデア

※ 移並区気候区民会議

アンケートでのタイトル：  
取組 32 | 東西の移動だけでなく南北移動も省エネで

環境課への  
などの  
大きな通り  
環境の上  
交通手段

32  
移並区は  
南北の移動性  
確保すること  
環境負荷の  
少ない交通を  
整備し、(東)や  
(西)だけでなく  
南北方向にも  
移動する手段  
を確保すること  
により、環境  
負荷の低い  
移動手段の  
選択を促す

バスは電車より  
一般的でなくて  
感じることが多い  
(バスは道路が狭い  
から)

区内のバス  
なぜ古物が多い  
と、なぜか？  
上下に伸びて  
きませんか？

平日ごとに  
乗客を  
運行する  
(例) 両航  
運航所  
あり

有線  
鉄道の  
運行を  
確保する  
必要はないか？

4回目の取組内容

- ・ 定時性を確保できる南北を公共交通で結ぶことにより鉄道などの基幹公共交通の利用を促し、環境負荷を減らす(LRT/地下鉄/BRTなど)
- ・ コミュニティバス「すぎ丸」をパワーアップし、交通ネットワークを強化することにより、環境負荷の少ない公共交通への転換を促す

運行情報  
を統合して  
発信して  
いく

# 取組 33：交通結節点を人にやさしく付加価値の高い場にする

## 12 グループ | 交通 人と多様なモビリティの共生

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにして
- 取組の内容：取組の基礎になる内容はしっかり議論しよう
- なぜ移住区に必要か?：移住区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき?
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは?

- 駅を便利にして
- 公共交通の利用を促す
- 中央系と110がら線の駅のイメージがわかる
- 駅なかに気軽に立ち寄りやすいように
- 駅前を快適にする
- 駅前を快適にする
- 駅前を快適にする

交通

達成したいことは? モビリティの結節点としての駅を活用し、駅を単なる結節点から買う・憩う・遊ぶ・乗る・学ぶ場にする

取組 33 交通結節点を人にやさしく付加価値の高い場にする

取組の内容

駅周辺などの交通結節点に便利な機能を集め、歩きやすい整備や公共交通の乗り換えをしやすくすることにより、人と環境にやさしい付加価値の高い場にする

なぜ移住区にこの取組が必要なの?

- ・今は駅によって、ばらつきがある
- ・駅によって役割の違いがありそう (移住には駅が多い?)
- ・環境は乗り換えがしにくいところもある

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

実現に向けたステップ

① 各駅の利用者の希望をアンケートはなす

② 各駅の利用者の希望を整理する

③ 公共交通機関の利用促進整備ポイント

④ 駅前の歩道幅を確保する

⑤ 駅前の歩道幅を確保する

⑥ 駅前の歩道幅を確保する

⑦ 駅前の歩道幅を確保する

⑧ 駅前の歩道幅を確保する

⑨ 駅前の歩道幅を確保する

⑩ 駅前の歩道幅を確保する

⑪ 駅前の歩道幅を確保する

⑫ 駅前の歩道幅を確保する

## 移住区気候区民会議

アンケートでのタイトル:  
取組 33 | 駅を人にやさしく付加価値の高い場にする

駅前の歩道幅を確保する

- 第4回の取組内容
- ・駅に文化施設や商業施設などを配置して便利にすることにより、公共交通の利用促進と維持を図る
  - ・乗り換えやすさのために、異なるモビリティの乗り換え時間の調整の他、バスの乗降の待ち合わせ時間の情報入手を容易にする
  - ・ニーズとまちのあり方を総合的に考えてみんなが使いやすい/使いたくなる駐輪場にする
  - ・人が多く集まる駅周辺を天候に左右されず歩きやすさするためのハード整備をする

# 取組 34：推したくなるような四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる

## 12グループ | 交通 人と多様なモビリティの共生

- タイトル：タイトルだけでも伝わるものにしてよう
- 取組の内容：取組の基礎になる内容をしっかり議論しよう
- なぜ移住区に必要か？：移住区に必要な理由や、提案する理由を言葉にしていこう
- 関わるべき主体：どんな人や組織が取組の実現に関わるべき？
- 実現のためのステップ：はじめの一步、持続させるための仕組みは？

- 道路の街路樹をよ
- いのかしら緑させつにエマ様々な花
- 徒歩に転換する
- モデルロードを「かみ」(とは)
- 善徳寺川神緑が思いやす
- 今ある緑を活かす
- 緑デザインの大変
- 川に注目
- 信号機をつける
- 自転車歩行者専用道をつくる

交通

達成したいことは？ 歩きたくなる街並みをつくり、環境負荷の少ない徒歩移動を増やす

取組 推したくなるような四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる

取組の内容

推したくなるような四季折々の景色を楽しむことができつつ、安全な通行ができるような整備を行うことで、歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする。

なぜ移住区にこの取組が必要なの？

- ・ 移住区はすでに過度な緑化が進んでいる
- ・ 川沿いはもっと活用できる
- ・ 高齢者が増える中での視点も

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

に向けたステップ

① 歩きたくなる街並みをつくる

② 安全安心な移動空間をつくる

③ 緑を活かす

④ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

⑤ 高齢者が増える中での視点も

⑥ 歩きたくなる街並みをつくる

⑦ 安全安心な移動空間をつくる

⑧ 緑を活かす

⑨ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

⑩ 高齢者が増える中での視点も

⑪ 歩きたくなる街並みをつくる

⑫ 安全安心な移動空間をつくる

⑬ 緑を活かす

⑭ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

⑮ 高齢者が増える中での視点も

⑯ 歩きたくなる街並みをつくる

⑰ 安全安心な移動空間をつくる

⑱ 緑を活かす

⑲ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

⑳ 高齢者が増える中での視点も

㉑ 歩きたくなる街並みをつくる

㉒ 安全安心な移動空間をつくる

㉓ 緑を活かす

㉔ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

㉕ 高齢者が増える中での視点も

㉖ 歩きたくなる街並みをつくる

㉗ 安全安心な移動空間をつくる

㉘ 緑を活かす

㉙ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

㉚ 高齢者が増える中での視点も

㉛ 歩きたくなる街並みをつくる

㉜ 安全安心な移動空間をつくる

㉝ 緑を活かす

㉞ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

㉟ 高齢者が増える中での視点も

㊱ 歩きたくなる街並みをつくる

㊲ 安全安心な移動空間をつくる

㊳ 緑を活かす

㊴ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

㊵ 高齢者が増える中での視点も

㊶ 歩きたくなる街並みをつくる

㊷ 安全安心な移動空間をつくる

㊸ 緑を活かす

㊹ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

㊺ 高齢者が増える中での視点も

㊻ 歩きたくなる街並みをつくる

㊼ 安全安心な移動空間をつくる

㊽ 緑を活かす

㊾ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする

㊿ 高齢者が増える中での視点も

### 移住区気候区民会議

- アンケートでのタイトル：
- 取組 34「推したくなるような四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる」
- ① 歩きたくなる街並みをつくる
- ② 安全安心な移動空間をつくる
- ③ 緑を活かす
- ④ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ⑤ 高齢者が増える中での視点も
- ⑥ 歩きたくなる街並みをつくる
- ⑦ 安全安心な移動空間をつくる
- ⑧ 緑を活かす
- ⑨ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ⑩ 高齢者が増える中での視点も
- ⑪ 歩きたくなる街並みをつくる
- ⑫ 安全安心な移動空間をつくる
- ⑬ 緑を活かす
- ⑭ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ⑮ 高齢者が増える中での視点も
- ⑯ 歩きたくなる街並みをつくる
- ⑰ 安全安心な移動空間をつくる
- ⑱ 緑を活かす
- ⑲ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ⑳ 高齢者が増える中での視点も
- ㉑ 歩きたくなる街並みをつくる
- ㉒ 安全安心な移動空間をつくる
- ㉓ 緑を活かす
- ㉔ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ㉕ 高齢者が増える中での視点も
- ㉖ 歩きたくなる街並みをつくる
- ㉗ 安全安心な移動空間をつくる
- ㉘ 緑を活かす
- ㉙ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ㉚ 高齢者が増える中での視点も
- ㉛ 歩きたくなる街並みをつくる
- ㉜ 安全安心な移動空間をつくる
- ㉝ 緑を活かす
- ㉞ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ㉟ 高齢者が増える中での視点も
- ㊱ 歩きたくなる街並みをつくる
- ㊲ 安全安心な移動空間をつくる
- ㊳ 緑を活かす
- ㊴ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ㊵ 高齢者が増える中での視点も
- ㊶ 歩きたくなる街並みをつくる
- ㊷ 安全安心な移動空間をつくる
- ㊸ 緑を活かす
- ㊹ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ㊺ 高齢者が増える中での視点も
- ㊻ 歩きたくなる街並みをつくる
- ㊼ 安全安心な移動空間をつくる
- ㊽ 緑を活かす
- ㊾ 歩道や緑道、川沿いなどを楽しい安全安心な移動空間にする
- ㊿ 高齢者が増える中での視点も

- 第4回の取組内容
- ・ 歩道周辺の過度な緑化と管理を進めることにより、歩きたくなる歩道にする。
  - ・ 一緒に歩いたり、ベンチを設置したりするなど、高齢者も歩きたくなるきっかけをつくる。
  - ・ 川沿いを活用して、歩きたくなるまちにする。
  - ・ 歩道を安心・安全にすることにより、徒歩へのハードルを下げる。
  - ・ 歩行者が気軽に休める公園などの公共空間を維持・整備することにより、徒歩での移動を促す。
- (その他の取組案：ソフトな取組案)
- ・ 歩くことにお得感を感じてもらい、夏に雨の日も歩きたくなるようなお得をつくる。
  - ・ 前回のKポイントが良い一区が適用ではなく民間でやっても？(区だとコストが心配)